

●田嶋助手「前走後は在厩で、つかりと調教を課してきた。積みは十分だよ。それにハミ换成たうえで、コントロール行のため出走を取り消しました。」

○高木登師に相変わらず攻めは目立たないが、順調にはきている。梓はロスなく運べそうといい桺。あとは、コンビで勝負をあげるに任せば(①)着もうワンパンチ欲が、堅実駆け。複穴。

③ プリュムドール
○奥村豊師「前走後のリカバリーが早く、久々に詰めて使います。上積みが見込める状態です。馬得意とする馬だけに、無神變得りと高速決着への対応がまだ、今回も内枠。ムーズに運べれば。」
【評価】距離三千以上は③(④)着と適性ある。前崩れ上がりのかかる形が理想。

○国技師前回で向きさけはったと判断、必要なことみては外して臨む。その前の行きっぴりならこの一枚マイナスになる要素はない。距離にもメドはついているかね。あとは鞍上に任せるのみ。

確定後
直前情報

☆天皇賞(春)☆	
調教後の馬体重	
① 426(木)	⑩ 540(木)
② 478(木)	⑪ 486(木)
③ 482(木)	⑫ 466(木)
④ 510(火)	⑬ 468(木)
⑤ 430(木)	⑭ 464(木)
⑥ 516(木)	⑮ 476(木)
⑦ 510(火)	⑯ 485(木)
⑧ 486(木)	⑰ 474(木)
⑨ 466(木)	⑲ 488(木)

「リピーターレース」という概念が存在する。以前のレースで好走した馬が、再び好走やすいレースを指す言葉だ。そもそも同舞台で実力を示した馬は好走しやすいが、中でもこの傾向が強い重賞が称され、過去の好走馬を推す根拠とされる。この言葉をよく耳にするですが、短距離GII・阪神Cだ。3年から3年にかけて2連覇があり、3回続いたが、直近でもグレナディアガーズが3年連続で休み①②着とした。

傾向があれば背景がある。阪神Cは施行時期ゆえに、一線級のスプリンター・マイラーの香港遠征と重複し、千四巧者が集

つての戦」という性質が強い。暮れの短距離重賞と春の盾ここに意外な接点がある。近年の天皇賞(春)も、中距離路線の有力馬がドバイ・香港に遠征。長距離戦のスペシャリストらによるレースではないだろうか。過去20年間の天皇賞(春)、「前年・一昨年」に③着以内」、「好走した馬が出走した際の成績」は「3 8 0 19」だが、前半04年は「0 0 2 12」に対して、後半14年、「23年」は「3 6 0 7」。巨距離戦の立ち位置の変化と、競争的に一致する傾向の激化だ。以上を踏まえて、「一昨年」③着以上の充実期を迎えた[4]テーオー・イヤルが◎。近走低調でも3ヶ月連続2着なら[6]ディープボンド。軽視禁物。単勝[14]、ワイド[6]で勝負する。〔編集部・鶴見〕

馬番連複オッズ											
1	[18]	—	[7]	45.1	[16]	152	[12]	90.1			
2	—	[3]	[8]	51.5	[17]	159	[13]	99.9			
3	253	[4]	422	9.9	158	189	[9]	74.78.5			
4	91.9	[5]	452	10.	146	—	[3]	159	99.9		
5	41.9	[6]	618	110.	203	999	[9]	99.9	16.	479	
6	107	[7]	354	12.	158.	10.	999	[9]	177	999	
7	31.7	[8]	999	13.	999	11.	999	[9]	179	999	
8	344	[9]	619	14.	13.9	12.	257	—	[12]		
9	127	[10]	641	15.	999	13.	999	[13]	750		
10	147	[11]	921	16.	119	14.	264	14.	3.9		
11	127	[12]	210	17.	709	15.	999	[15]	462		
12	14.7	[13]	999	18.	999	16.	999	[16]	44.0		
13	999	[14]	175	19.	—	17.	999	[17]	217		
14	13.6	[15]	999	7.	83.7	18.	999	[18]	447		
15	855	[16]	999	9.	999	9.	—	[19]			
16	135	[17]	999	9.	220	10.	385	[14]	720		
17	442	[18]	999	10.	335	11.	476	[15]	999		
18	725	[19]	4.	11.	362	12.	59.4	[16]	999		
19	2	[5]	80.0	12.	50.6	13.	999	[17]	999		
20	3	[6]	313	13.	999	14.	58.5	[18]	999		
21	4	[7]	124	14.	47.4	15.	999	[19]			
22	5	[8]	828	15.	999	16.	284	[15]	381		
23	6	[9]	283	16.	415	17.	999	[16]	46.0		
24	7	[10]	330	17.	999	18.	999	[17]	238		
25	8	[11]	445	18.	999	19.	—	[10]	472		
26	9	[12]	43.6	19.	—	[11]	597	[15]			
27	10	[13]	999	20.	544	12.	49.1	[16]	999		
28	11	[14]	33.3	21.	9.	111	[13]	999	[17]	999	
29	12	[15]	999	20.	133	14.	62.1	[18]	999		
30	13	[16]	340	21.	196	15.	999	[19]			
31	14	[17]	999	22.	10.8	16.	415	[17]	933		
32	15	[18]	999	23.	999	17.	993	[18]	999		
33	16	[19]	—	14.	14.2	18.	999	[17]			
34	17	[20]	6.	142	15.	912	18.	[18]	999		

天皇賞(春) 過去10回の成績

開催地	馬番	馬名	性	年齢	種牡馬	斤量	騎手	勝タイム	通過順	気象	人馬	単勝	連卽	
14京都	7	フジノーメノ	牡	5	58	蛇	名	3.15.1	8[7][5]	4	1150			
芝3200	12	ウンバリアシオン	牡	6	58	武	幸	7[4]	14[8]	3	2080			
良18頭	6	ホッコープレーブ	牡	6	58	田	辺	9[0]	10[0]	12	5670			
15京都	1	ゴードル	牡	6	58	横山典	3.14.7	7[3][4]	2	460				
芝3200	14	ファイムゲーム	牡	5	58	北村宏	幸	9[1]	11[0]	7	6060			
良17頭	2	カレミロティック	駒	5	58	鷲	名	5[2]	31[1]	10	8480			
16京都	1	キタサンフラッグ	牡	4	58	武	豊	3.15.3	11[1]	11[2]	2	450		
芝3200	3	カレンミロティック	駒	4	58	池	添	8[3]	3[3]	13	20160			
良18頭	4	シユヴァルグラン	牡	4	58	福	永	11[9]	11[9]	13	29950			
17京都	3	キタサンフラッグ	牡	5	58	武	豊	12.5.2	12[2]	11	220			
芝3200	5	シユヴァルグラン	牡	5	58	福	永	11[4]	5[4]	3	1040			
良17頭	6	サトノダイヤモンド	牡	4	58	ルメール	幸	7[7]	7[5]	2	1430			
18京都	1	ライパンボーランド	牡	5	58	岩田康	東	3.16.2	10[1]	11[2]	2	600		
芝3200	11	ショウヴァルグラン	牡	6	58	ボウマン	幸	3[2]	2[2]	1	1030			
良17頭	12	クリンチャー	牡	4	58	三浦	昌	7[4]	7[3]	4	2510			
19京都	1	フィールerman	牡	4	58	ベルヌ	1.3.5.0	5[4]	1	1	280			
芝3200	7	グローリーヴェイズ	牡	4	58	戸崎	昌	8[7]	2[6]	6	1780			
良13頭	8	フォーマーブラミス	牡	7	58	北村友	和	6	5[4]	5	2470			
19京都	14	フィールerman	牡	5	58	ルメール	3.16.5.5	7[7]	1	1	200			
芝3200	20	スティッフェリオ	牡	6	58	北村友	和	8[3]	3[3]	1	5770			
良14頭	5	ミッキースワロー	牡	6	58	横山典	永	24	10	5	4	7410		
21阪神	1	ワールドブレミア	牡	5	58	福	永	14.7.1	7[7]	4[3]	5	520		
芝3200	22	ティーポーポンド	牡	4	58	和田竜	昌	5[3]	4[3]	1	940			
良17頭	3	カランフレーケード	牝	5	56	戸崎	昌	2	3	2[2]	2	2220		
22阪神	16	タイトルホルダー	牡	4	58	横山	和	3.16.2	11[1]	11[2]	2	490		
芝3200	18	ティーポーポンド	牡	5	58	和田竜	昌	7	4	1[3]	1	520		
芝19頭	7	テオーロイヤル	牡	4	58	菱	田	1	4	2[2]	4	1230		
23京都	1	ジャスティンバレス	牡	4	58	ルメール	3.16.1	7[7]	7[4]	2	430			
芝3200	10	ティーポーポンド	牡	5	58	和田竜	昌	24	3	4[3]	5	4000		
芝16頭	17	シルヴァーニッシュ	牡	5	58	レーン	昌	1	2	1[9]	6	5990		

天皇賞(春) 大川浩史
菊花賞が10月に移った2000年以降、菊花賞馬が次に二三以下のレースに出走すると「0222」。これは菊花賞が11月だったころから続いている傾向だが、菊花賞馬が次に大幅に距離を短縮すると勝てない。菊花賞馬が次走短縮でも③着以内に入るとのその後は有望で、アサクサキングス

エビファネイア(大阪杯③着)はその後も2回続けて二千に出走して④⑥着だったが、秋には二四のジャパンCを勝った。

菊花賞馬ドゥラーヴィアが次走に三千の金鯱賞を選んだ時点負けすることは想定内の。その次に天皇賞(春)に出てきたのならノータイムで本命。完璧な立ち回りをしたプログノーシスに5馬身ちぎられたことで少しだも人気が下がるのならなお良い。

3連複⑫→①⑦⑯⑮(6点)

◎ 5歳馬 [5 3 1 38] G I ⑤着以内あり: ⑦⑩⑫

▼ 4歳時③着以内が、直前に重賞0秒2差以内: ①⑪

◎ 6歳馬 [1 4 2 33] G I ⑦着以内あり: ⑭⑯⑬

1 馬連平均 = 4 3 3 0 円

1 人気: [3 3 0 4]

2 人気: [5 0 1 4]

3 人気: [1 1 1 7]



①馬運平均＝4330円
 ②人気：〔3304〕
 ③人気：〔5014〕
 ④人気：〔1117〕
 ◇優勝馬は①～④人気。
 気以下の連対は4頭だけ。
 ④歳馬〔42430〕
 ⑥人

天皇賞(春)はグレード制導入の84年以降、菊花賞馬15頭が勝もしてきた。23年目のドゥラメンテは、都での史上5位。中盤まではストップで2分00秒位。通過は2分04秒5。それを考慮すると実際の中身ははるかに濃い▲。

ドゥラメンテ産駒は22年にタルボルダーダーが圧勝している。から長丁場は大丈夫だが、ドゥレッサーザの長距離戦は3歳限界の菊花賞だけ。体型は必ずしもステイヤーではない▲。

ただ、ドゥレッサーザの牝系は長い時代から、多くの長距離界の名馬が日本と関係してきた。



金鯱賞の四角では勝ち上がりと同じ位置にいましたが、あちらは内へこちらは外へ。進路確保の時点で付いていた差は4~5馬身、その差を詰められずも五分の脚は使っているドゥレツィア。逃げて、引いて、独走3馬身半差の菊花賞はモンスター級の強さ。一強です。



京都11R [4]ワーブスピード
長い丁場での安定感抜群。直進
追いもこの馬にしてはスムーズ
ケール感は皐月賞馬の兄以上。

同じく75年の勝ち馬フジノバ
リシアの父ハーシア英。92年ハ
の有馬記念を逃げ切つたメジロ
バの祖父で、持ち込み馬
のメジロサンマンなど、みんな
現代のドゥレッサから数える
と、もう10代も前のイギリス産
の牝馬アロー（1926年生ま
れ）が牝祖になる。

同じ一族とはいえ、世代が離
れすぎ近親馬ではない。では、
関係ないかというと、伝統的底
力を伝える権威は健在で、
近年の日本が誇る在宝ディー
ブインバクトの7代前の母は、
ドゥレッサの10代前の牝祖と
同じアローである。

全体のペースは読みにく
いが、先行もできる自在脚
質が大きな強みとなる組み
合わせだ。3000mの菊
花賞を実際は3分03秒1の
好時計以上の中身で圧勝し
たドゥレツツアは強気にな
れる。同じ京都の菊花賞の
再現が望める。穴馬には菊
花賞⑤着のサヴォーナ。
これまで勝負



《4月21日(日)のWIN5》

WIN①…京都⑩R	⑥アスコルティアモ	①人気
発売票数 6512982票	残り票数 2216971票	
WIN②…東京⑩R	⑪コパンニコルソン	⑥人気
	残り票数 50311票	
WIN③…福島⑪R	⑧アシャカタカ	⑨人気
	残り票数 2778票	
WIN④…京都⑪R	⑭ソウルラッシュ	①人気
	残り票数 766票	
WIN⑤…東京⑪R	⑧アドマイヤベル	②人気

1・5キロ差ついて逆転可
京都11R ハビ
初芝の前走は内で詰まつ
てもさきなかつたが、直線半
では走り抜け、そなえな零距離
の走りも抜け、長距離も合
触。ダート同様に相手なり
馬ができれば、ここでも通



◎天皇賞(春)優勝馬の前走成績◎
18年 17年 16年 15年 14年
年 年 年 年 年
17年 16年 15年 14年 13年
年 年 年 年 年
キタサン ブーラック ブーラック シップ ノーメン
◎天皇賞(春)優勝馬の前走成績◎
18年 17年 16年 15年 14年
年 年 年 年 年
17年 16年 15年 14年 13年
年 年 年 年 年
ターキー ブーラック シップ ノーメン